

## 第6回 高砂市スポーツ推進計画検討会議

平成26年8月5日（火）19時00分高砂市スポーツ推進計画検討会議を高砂市役所南庁舎2階会議室1において開会

出席委員	議長	森田 啓之	委員	加茂 朋之
	副議長	藤原 良文	委員	松陰 英人
	委員	砂川健次郎	委員	山田 みえ
	委員	鎌谷 正士	委員	中村 香織
	委員	水王 征子	委員	島本 卓
	委員	池田 政隆		

欠席委員 委員 佐藤 章徳

### 出席事務局職員

健康文化部長	橋本 保正
健康文化部	猪子 真一
くらしと文化室長	
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課長	東野 哲也
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課主幹	福原 裕子
健康文化部くらしと文化室文化スポーツ課係長	前川 吉也

### 協議事項

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 議 題

(1) 高砂市スポーツ推進計画（素案）のパブリックコメントの結果について

(2) 高砂市スポーツ推進計画（素案）について

- 4 そ の 他

(1) 今後のスケジュールについて

(2) 次回開催予定日

平成26年 月 日（ ） 19:00～

5 閉 会

(午後 7時00分 開会)

○事務局

皆様こんばんは。

定刻になりましたので、資料の確認だけ先にさせていただきたいと思います。

お手元の書類をごらんください。

(資料確認)

○事務局

それでは、ただいまより第6回高砂市スポーツ推進計画検討会議を開催いたします。

開会に先立ちまして、当会議の公開についてですが、高砂市スポーツ推進計画検討会議の運営に関する規程に基づき、公開とさせていただいております。

また、本日は傍聴希望者が1名おられますので、よろしく願いいたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

では、次第により進行いたしますので、よろしく願いいたします。

まず、開催にあたりまして、議長よりご挨拶をお願いいたします。

○議長

(あいさつ)

○事務局

ありがとうございました。

本日の会議、出席者11名、欠席が1名でございます。

では、今後の議事進行は、議長をお願いいたします。

○議長

それでは、次第の1番、高砂市スポーツ推進計画(素案)のパブリックコメントの結果について進めます。

まず、いただいた意見が何件あって、どういう内容かということについて、事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局

それでは、資料1をごらんください。

6月11日から7月11日まで高砂市スポーツ推進計画の素案について、市民から意見公募をいたしました。

1ページをお願いいたします。

①計画全般に関する意見が5件、2ページの②スポーツの定義に関する意見が1件、③目標に関する意見が1件、3ページの④学校体育に関する意見が1件、⑤生涯スポーツに関する意見が2件、4ページの⑥障がい者スポーツに関する意見が2件、5ページの⑦施設に関する意見が3件、⑧その他の意見が2件、合計6ページにあります意見提出数の表のとおり、お二人の方から17件の意見をいただきました。

その意見と事務局の回答案をお示ししております。

なお、今回いただいた意見によって、内容や文章を変更した箇所はございません。  
以上です。

○議長

はい、ありがとうございます。

①から⑧のほうに分類をしていただいて提示しております。このパブリックコメントで出てきた意見は素案には十分盛り込んでいないとのことでしたが、委員の皆さんで見えていただいて、パブリックコメントの意見を含めて素案に盛り込んだほうがいいのか、あるいは、事務局がつくっている回答案のこの部分、この意見についての解釈とか、わかりづらいなどかも含めて、順にいきたいと思います。

どのような形でもいいので、順番にいきたいと思います。忌憚のないところを出していただけたらと思います。

それでは、まず①に5件整理されていますが、ご意見をご遠慮なくいただけたらと思いますが。

ちょっと難しい部分もあろうかと思うんです。私も事前に見せていただいて、まず一つのきっかけという形で説明的にお話をさせていただきたいと思うんですが、まず①の整理番号1の2段落目に一番肝心の具体的目標とスケジュールが見当たらないという部分ですね、いただいた意見に。後2番に課題を反映した具体があんまりないんじゃないかというふうなあたりが一つ、そういうふうはこのつくった素案のところでは読めるんじゃないかというふうなお話です。

まず、一般的にですが、回答に事務局が書いておるんですが、今回は全体の青写真のようなものなので、細かい具体的な事業とかは書く必要はないかと思います。何年に何をするかとか、そのあたりというのは、現段階では予算のこと等も含めてなかなか難しいところがありますので、この後に大体どの市町でもそうなんですが、アクションプランといって5年間に大体こんなことを進めますよみたいなのをまた別途作成をしながら、具体のとは議論するというふうな段取りというか手順を進めるように聞いております。

そのこともあって、1番には4行で本計画は、スポーツ推進の基本的な取組の方向性を示したものです。具体的な計画は、各年度ごとに実施計画を策定し、本市のスポーツ推進を図りますというふうに表示をしているところです。

2番目もそこにかかわるんですが、厳しいご意見なんですが、コミットメントのない計画という難しい表現があるんですが、いわば具体的に政治で言えば公約とか、こんな方向でやりますよみたいな宣言みたいなものがあまり見られてないんじゃないかなというふうなご指摘です。

一般には、これも他市町では例えば一つは数値目標みたいなものを、最近はやりですけど、例えば市民の何かアンケートをとったときにスポーツの実施率が何%とか、ボランティアをしている人がとか、そういうふうなものをあげたりする場合、あるいは数字ではなくて特に今やっているところ以外に、あなた方にこんな方向に進みますよみたい

な、こんなことに向かって取り組んでいきますというものがこの文章にあるコミットメントの具体だと思えます。

そういう観点でみると、まさに素案の部分というのは、全体的には抑えていると。そのあたりも少し強く色を何かどこか出したらいいな違うかなというふうなご意見ともとらえながら、ある部分特に2番のご指摘はごもっともかなというふうにも感じるところではあります。

そのあたりについて、そんなふうなこととしてこのご意見をまず一つ引き取った上で、もう一回全体のこれまで議論してきたことを踏まえて、どういうふうに思うかな、あるいはもう一遍点検をしてみて、この回答というのも含めて考えていく必要があるかというふうにご理解ください。

なかなかこういう回答とか難しいところだと正直思うんです。書面でつくりたくないといけないということ。

すぐにはちょっと、なかなかご意見出づらいところもあるかと思うので、先へ進めながら、関連するところもありますので、また戻ることになるかもしれませんが、順にいききたいと思えます。

後①、3、4、5というのは、あまりこの委員会では議論をしていないいわゆる民の力というふうな表現があります。民間のフィットネス等の産業の話ですね。あるいは4番は東京オリンピック、そのあともそうですがパラリンピックが決まったことも踏まえて、もう少し経済的な部分も含めて何か文言を入れていったらどうかなというふうなご意見というふうにとらえていただけたらと思えますが。

#### ○委員

議論の過程にはいろんな細かいこととか話が出て、具体的な話も出たんですけども、その中で方向性なり、あるいは決める、最終的にこういう形にならざるを得ないと、私も思うんです。

それと、この民の力につきましては、我々それぞれ団体がやっているのも全て民でありますし、行政から全くお金をもらっているわけでもないですし、それぞれ民の力でやっていますし、また話の中では高砂市の企業との連携も必要という話も、その都度、その都度出てきたと思うんです。それも検討した中での今回の整理したということだと思うんです。

今回の整理の中には、高砂市のいろんな企業とも連携するということも、またその大会なりが浜風駅伝とかいうことで出てましたので、そういう考えも入っていると思えます。

それと、この業者との連携も必要かと思うんですけど、何かあまり生々しくなりすぎるのかなと、こういう市の計画ではと思うんですけど、その辺どうかなと私は個人的には思うんです。

後オリンピックも、確かにオリンピックが大きなものでありますので、どこか入った

らいいのかなという気もしてたんですけども、東京オリンピックが過ぎた後も、10年後の計画までの見据えたこの計画ですので、それ以降も、東京オリンピックが過ぎた後もオリンピックを目指して、高砂市が何かするのであれば、それも入れていったらいいと思うんですけども、東京オリンピックが済んだらそれで終わりでは、この計画の中ではちょっとおかしいかなというような気がします。今までの議論の中で、その話も出たと思うんです。

今回の意見についてそう思いますので、気持ち的にはこの中に入っていると思うんです、この3番、4番の。ただ、表現できていない。

#### ○議長

恐らく、私も事務局と一緒に反省する部分なんですけど、どうしても平板的な、平均的な表現に行政文章になってしまうので、ましてやこの青写真の部分に特定のどんなものを、なかなか出しづらいというところもありつつ、このご意見をいただきながら、また文言を少し力を入れる、あるいはわかりやすくする、こちらの立場が何か議論が伝わるようなところを入れられたらいいかなというふうには、そういう意味ではこの1番、2番、①に関する部分というのは正直なところですね。5番はトータルな要望なので、1から4については、そんなふうには私考えながら。

今日ご欠席の佐藤委員からも、高砂市の特色というふうなものが、何があるんだろうというふうな記載の仕方を、そういう意味では基本理念、素案の11ページのところあたりとも絡むんですけど、ここの部分というのは、スローガンのような文言があって、簡単な説明があるんですけど、ここの部分あたりから、もう少し高砂のこの文化というあたりをどういうふうにとらえて、そして広めていこうとするのかというあたりを、少し追加すればというふうには思っているところではあります。

そのような形で、事務局にもお願いしたいんですが、多分委員の皆さんも具体的な回答の仕方というのは、なかなか言いづらいので、ご意見を伺いながら進めていくような形でお願いできたらと思います。

それでは、先へいきますが、②のところ、やっぱりこれも悩ましいところなんですけど、概念の問題なんですけど、スポーツの定義に関するご意見もいただいています。

例については、多分スポーツのとらえなんですけど、皆さんのご意見をお伺いできたらありがたいかなと、両方、左と右をどんなふうにも思われますか。

皆さんどうでしょう、ここまで。

#### ○委員

僕が感じたことなんですけども、左の意見と回答という中に、意見を出す側は、あくまでもその形として見えていない。あくまでも文章で、いっぱい山積みになっても、結局形としてどういうふうなものになるのかというところがまず見えないというところで、例えばその回答の中にも、この意見をもとにやっていきますという形であっても、その意見を出している側としては、回答を求めているというのも含めて、それを実現される

のかどうか。

ただ、その意見を出してもまた持ち越しになって、意見があがらないままになっている状態。だから結局、先ほども言ったみたいに、5番とかでもそうですけど、貴重な費用をかけているであっても、結局向こう側としたら何にお金をかけてやっているのか、それに、こちら側のが使うものに何か充てられているのか、そういうふうなところの、相互にずれが生じてしまっているというところで、意見的にもいい案であっても、それが現状実行されていないという意見、とどまってしまっているのかなというところもあって、あくまでも文面を何回出しても、結局いつになったらそれが行われるのか、行わないのであればしなくてもいいんじゃないのかというところにまで、多分なってくるんじゃないのかなというところで、僕自身は感じております。

#### ○議長

恐らく、これ今の定義の②のそこだけでなくて、全体に対して言えることじゃないかなと思うんですけど。

そういう意味で、今パブリックコメントの中身を我々理解して、どんな回答をするかということをやっているんですが、それも踏まえながら、素案のところでも今後少し具体的に議論しなければならないんですが、今委員が言われたような、どんな新たな可能性を考えているのかぐらいのところは、素案の中に盛り込んでいったほうがいいのかも、それ自体が見えないよという。

私も正直なところ、一番ぐさっときたところで、当然なんですけど、総花的で一般論だという表現のところ、ここの部分が先ほど委員が言われたところにもかかわるんですが、それをどんなふうに今後我々が考えるのかというふうにも理解いただけたらと思います。

この競技スポーツという言葉なんですけど、非常にややこしいというか、そんなスポーツはないんです。私も概念をやってしまして、スポーツが競技時期にあるか、健康であろうがスポーツはスポーツです。

ただ、多くの計画でこうやって書いているのは、県もそうなんですけど、一つ言えば競技的にやるようなものを思いっきりフォーカスするために、特に兵庫県は、国もそうなんですけど競技スポーツというふうな分野を、あえてそんな文言をつくって進めようとしている。

そういう意味で、この高砂市レベルでこの文言を使うことが、例えば適切なのかどうかは検証したほうがいいのかと思います。国としてはメダルを出す、あるいは競技力、各種目の競技をあげるというのが、でも、実際に高砂市は多分その側面もあるけど、もう一つはそれぞれの体育協会の皆さんも競技としてやっっているながら普及というふうな、体育協会はそういう位置づけもあるので、そのあたり一概に体育協会イコール競技スポーツをやっているというふうにもとらえられませんし、やっている皆さんも。

でも、そういう意味ではこの言葉の問題というのは、深くやりだしたら非常にややこ

しくて、どうするか難しいところではあるんです。

そういう意味では、ご意見の①段落目のところは、もし回答はさておき、この表現を使うということに対して、異論がないようであればそのままでもいいかとは私は。

まずそれについて、丁寧に説明する必要はあろうかと思うんですが、ただ、2段落目皆さんどう思われるのか、どう解釈したかを教えていただきたいのですが、市民が興味をまたのところです、もっと参加したいと思っている種目と、施策等が一致していないのはっていうふうなところ、ここの部分はどんなふうなことを言おうとされているのか。

#### ○委員

具体的なものが出てないからね。

素案の13ページにあるいわゆる基本施策、この中の各項目、幼児期の取組や青少年期の取組、成年期の取組、高齢期の取組、ユニバーサルスポーツの推進と競技スポーツの推進、後、以下の部分、これもその項目、項目に応じてのまた協議をしていかないといけないのと違うかな、計画を立てていかないといけないのと違うかな。

それはまた、今具体的にいうても、まだ今のところは市のほうの方向性、これから取り組んでいこうという方向性、そこらも協議しながら予算もあるし、そういうところをやっぱり検討しながら、再度これは具体的に取り組む必要があるんじゃないかなというふうに思われますね。

今のところは漠然とした部分が表へ出てしまっているというところだから、まだ具体策は全然出ていないということに、こういう意見も出てきたのではないかなというふうに思います。詰めていかないといけないからね。

#### ○委員

競技スポーツのところですけども、結局、11ページの高砂市スポーツ推進計画の基本理念として、「すべての市民が生涯にわたってスポーツを楽しめるまち 高砂」という、これをあげたわけですよ。

そして、そのスポーツは市民一人一人が生涯にわたって誰でもいつでも楽しめるものとして身体活動を含む全てのものをスポーツとしてとらえる、文化も含めてとらえるということに定義したわけですよ。

ですので、そこで競技スポーツがどうだという議論も成り立たないというか、高砂はそう理解すると決めたわけでいいんじゃないでしょうか。

#### ○議長

そのようなご意見をいただいて、恐らくこれを広くとらえることで、ここのご意見のいろんな、今あまりスポーツ的に思われていないものも含めて、広くとらえて進めていくというふうに。

今、委員が言われましたが、恐らくそのあたりの具体の部分が今後、現在の体育協会のやっていることだけでよしなのか、もう新たな展開をしていかないといけないのかというふうな、恐らくそういうご意見というふうに理解をして、前に進めればいいのかなど



いうふうには思います。

続いて順にいきますね。

③目標に関する意見です。計画目標としてということで、ご意見が、他市との差別化、確かにいろんな市町が計画をつくっておられて、高砂市はじゃあどのあたりを特化してやるんだよということが、もっと踏み込んでいってほしいなというふうなことだと思います。

これは、そういう意味では先ほどの①の1と似ている部分もあるんですが、回答がシンプルに4行なんですけど、今回の推進計画の位置づけというふうなものを、①の1もそうですが、丁寧に説明をする形で理解を求めているのかなというふうにも私は思います。

個人的になんですが、先ほどから出てる、他市町との差別化、高砂市としての特色というのが大事なところかなと、私も正直パブリックコメントを幾つか見て、これだけ丁寧な、あるいは踏み込んだ刺激的な意見をいただいているのは初めて見ました、正直なところ。

そういう意味では、非常にありがたいし、そのことをまた素案に少しでも踏まえる必要があるかなというふうにご理解いただけたらと思います。

少しずつ、後具体なんですけど、④をごらんください。

学校体育に関する意見ということで、グラウンドゴルフのご要望があります。このあたりも、回答は多分行政的にはこういうふうになるんだろうなと思いながら、表現は行政の回答として可能なところで、かつ適切な表現をしていくような形でおさめたいと思いますが、いかがでしょうか、ここについては。

恐らく、グラウンドゴルフをやられている人からの意見なので、それは一つの意見としてはあるんですが。

#### ○委員

回答で、できるかできないかの、予算であったり、この推進計画にそぐうかそぐわないかのところで回答をしていただいたほうがいいのかと思います。

#### ○議長

その方向で、これについては対応させていただけたらと思います。

後5番、今度は生涯スポーツに関するご意見ということで、⑤で9と10、ワールドマスターズゲーム、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、関西圏で先般プレス発表もあったんですが、2021年に、そのことも情報としてつかまれている上で、このあたりにもコミットするような書き方があったらどうかなというふうなことです。

これも、特にマスターズゲームなので、壮年、成年とか壮年、高齢者あたりにかかわってくるとこなんですけど、これを一つの契機に、今までなかなか停滞しているところの世代層に打って出ましようみたいな一つのきっかけとして、何か出ていくようなことというのはあるかと思いますが、これも具体的に事業をしていくというふうなところあたりの中で議論をしていく必要があるというふうには個人的には思います。

10番のあたり、スポーツ業者が進出しやすくする規制緩和、優遇策、このあたりは。ここは私思うんですけど、先ほど委員が言われた部分の企業との関係企業への対応というふうな辺りで、具体が出てくればこういう条例とか、できるんだろうかと思うんですが、この委員会ではその部分というのは、なかなかタッチするのはどうかというふうには個人的には思いますが。

○委員

この中で、スポーツ21ではできないとこう書いてあるんですけども、スポーツクラブ21でも一応地域の皆さんがやりたいということであれば、今取り上げていってまして、地域によってそういう競技スポーツに近いようなものもやり始めているところもありますので、いろんなスポーツ、皆さんのほうから声をあげていただければ、十分対応は可能かなとは思いますが。

当然、指導者についても、いろんな派遣制度とかもありますので、そういうのも利用しながら、やるつもりがあれば十分できる環境にはあるとは思っていますけど。

○議長

そのあたりどうですかね。

○委員

大会とかなんですけれども、全てを行政に委ねてしまうとかではなくて、最初のページにあります民の力、そこで市民の人たちの手で手づくりの大会を実施するというのも可能ではないかと思うんです。

だから、そういう大会が一つでも多くあれば、またそれが広がっていった大きな大会になれば、市も手を貸していくかもしれませんが、まずスタートは自分たちでやってみるということがあってもいいかなと思うんです。

特に生涯スポーツに関しては、年齢の高い方もいらっしゃるんですけども、私も実際高齢者の方の指導に携わっていますけれども、力はすごく持っていらっしゃるわけです。パワーもたくさんありますので、その方たちが生涯スポーツですから、自分の生きがいとして取り組んでいただくと、行政に頼らなくても大きな大会というのはすごくできると思うんです。いろんなことを経験してこられている方ですので、それこそいろいろつながりがあると思いますので、そういうつながりを本気にすれば、恐らく行政とかを頼らなくても大会とかというのはできてくると思うんです。そうすると、すごく素晴らしいことだと思いますので、予算のこともあると思いますので、全てが全て行政を頼るのではなく、民の力でそれこそやっていただくのは、すごくいいことじゃないかなと思うんです。

ですので、ここにアがっていることを早急に答えを出してほしいというように感じられるんです。だから、もっと具体的な計画がほしいということは、イコール会議で述べてないで、早急にもっとこういうことをやってほしい、こういうことをやりますということを回答として出してほしかったんだろうなというのはあるとは思いますが、

偏った記載はできないというところで、公として考えると、やはりそうだと思いますし、基本理念というのが今回この施策としての全てを物語っていると思いますので、一応基本理念ができて、それに沿ってこういうものができました。スポーツ推進計画の素案ができましたよということを、まず今回示させていただいて、それこそ皆さんがおっしゃってるように、方向性をただ示しただけです、申し訳ありませんみたいな感じだと思うんです。

ですので、これからいろんな意見をいただいて、それを具体化していきますというところだと思いますので、今はまだ偏った記載はできないけど、要するに、これは高砂市のスポーツ憲章みたいな感じで考えていただいたらいいんじゃないかなと思います。

○議長

ありがとうございます。

○委員

私も同じような意見ですので、この推進計画というのは、細かいことあれをやります、これをやりますという場ではないですよ。ですから、理念は決まったので、こういう意見が出てきている、いろんな意見がこういう出てきていただくことがすごく重要なので、出てきていただいたときに、こういう手助けする方法がありますよとか、市としてはこういうバックアップができますよということを具体的には書きにくいと思うんですけども、こういう窓口がありますとか、そういうことを書くべきで、細かいことを一々やります、これやります、あれやりますというのは、あまりこういう推進計画の本意ではないと思うんです。

ですので、そういう市民にも私は責任があると思うので、市民がそういうふうに取り組むことを少しバックアップできる、そういう道筋を示す項目だと思います。

○委員

私もその意見に賛成です。誰でもがスポーツをしやすくできるようにやりましょうという、今の基本理念でつくっておりますので、具体的に何をするとかというのは、まだ今素案の状態なので、これから検討していくべきだと思います。

○委員

先ほど僕が言ったように、その都度一つ一つの項目については、その専門といいますか、いわゆる体育協会にしろ、仮に高砂と言うと柔道が有名と。日本でトップをとったというような、陸上だったら兵庫県のリレーカーニバルでいつも上位を占めるというようなことで、そのためにはどういう具体策を取り組んでいくかというような、関係の人たち、専門の人たちも呼んで、それで話し合いをして計画立てていくということ。

今、この委員だけで陸上のことはこうしましょう、柔道のことはこうしましょう、何々のことはこうしましょうというような形で取り組むということは、なかなか不可能でないかなというふうに思います。

だから、再度検討会をもって検討して、そして計画立てていくということが策じゃな

いかなというふうに思うわけです。

今ここで専門の、卓球のことどうのこうの言ったって、我々わからないですからね。

#### ○委員

ただ、素案の部分だけでそれを読んでいただいて、ああいい文言ですねだけで終わってしまったら、もう話は進まないの、こういう貴重な意見をいただいたということは、今後のすごく参考になりますし、方向性を示すこともできると思いますので、私はすごくありがたかったし、こういう具体的な意見が出たのはすごいなと思って、やっぱり興味持ってくださいって方がこんなにいらっしゃるということはありがたいなと思ったんです。

実際、もしかしたらゼロだったらどうしようと思ったんですけど、意見があったのはすごくうれしいなと思ったので、大いに参考にさせていただいたらいいんじゃないかなと思います。

#### ○委員

非常に中身の濃い意見で、今回いいとは思いますが、大体こういうのをやるとどうなんですか。私二人の方しかないというと、非常に少ないような気がするんですけど、ほかの市でやられている場合でも、意見ってこんなものなんですか。

#### ○議長

そうですね、そんなに多くないですね。

私がかかわったところで、高砂市が一番大きな人口なので、もしかしたらもっと出たほうがよかったかなということもあるかもしれないですけど、これまでかかわったやや小さ目のサイズのところでは、大体多いのは要望パターンですよ。つくってくれとかいう、そういうのが多いんですけど、それとは今回の意見は異質な側面で書いてくださっているのは本当に多いですね。

わかりました。じゃあ、大体ここまでで皆さんの大枠の部分は、見えてきたと思いますので、後まとめながら、総括して進めたいと思います。

六つ目の障がい者スポーツのところも、非常にこれ重要な指摘を書いています。まさに委員、いろんな新しい活動をされている中で、多分共鳴する部分もあろうかと思うんですけど、この練習場はなかなかないと、私もよく行くんですが、車いすサッカーとか、バスケとか連動とかすると体育館のフロアの問題でできなくて、それを許可してくださっているところに全県で動いているというふうなことも聞いたりも。

そういう意味で、ここについても一つは先ほど皆さんからもありましたが、具体のところは難しいんですが、少し検討を、障がい者スポーツあるいはユニバーサルスポーツということについての高砂市としてどういう見通しを、どんな種目とかあたりも含めて、今までやってきたこと。これからというのが、少し具体が出てくるといいかなと。恐らくこれは、多分ある程度の大きい市じゃないと具体的な施策として上がってこないかなんです。

郡部のほうでは、なかなかやらないといけないと言いながら、どうしていいかわからない、交通の便のことも含めて、そういう意味ではちょうど阪神間、高砂市はこのあたり、具体的に何か検討の会議を立ち上げる等々は考えていったらいいかなというふうには思っているんですが、どうでしょう、何かこのご意見いただいて。

#### ○委員

ちょっと個人ごとにはなってしまうかわからないんですけども、8月2日の土曜日にユニバーサルスポーツの大会を行いました。そのときの参加人数もチラシの関係もおくられてしまったのもあったんですけども、1週間前で本当に2名ぐらいしか正直申し込みがありませんでした。当日まで、ほとんどぎりぎりまで伸ばしたんですけども、そうしたら100名程度、当初は200名を予定をしてたんですけども、それでも去年と同じような形の、また新しい顔ぶれもたくさん来ていただいてたというのもありまして、全体で約100名程度来てくれたのかなというふうにも、自分の目でも見えている感じではありました。

でも、その中に終わった後、父兄の方、子どもであったり、なぜこれが学校にないのかという、例えば体育の授業になぜこういうのが、道徳の時間でもいいからなぜこういうのが取り入れられないのというのを子どもから直接言われたり、なぜ車いすに乗ってるのという、本当に目に見えているものの答えだと思うんですけども、本当に車いすが珍しい、車いすバスケットを今回やったんですけども、自分の手で漕いで車いすを移動させるんですけど、僕の場合は顎で操作をして電動に乗ってる。じゃあそれは何がどう違うのか。また、僕らでも車いすバスケットができないのかというような、子どもながらのユニークな目線もあったんですね。

例えば、その中でも高砂でこういうスポーツってどこでやってるんですかという質問であったりとか、例えば車いすで競技をしている人は約どれぐらい、何名ぐらい実質高砂におられるんですか、中でもそういう団体があるんですかというような、本当に子ども目線の意見かもわからないですけども、それが実質今高砂にないというところで、大人目線から見ると、なかなか見えにくいところかもわからないんですけども、やっぱりその教育を受けてる場の子どもたちには、そういうところがすごく映っているのかなというふうには今回率直には感じました。

もしも、車いすに乗ってなければ障がい者スポーツをしてはいけないというわけではないので、例えばその中に車いすバスケットのチームが、練習試合をしてほしいと言ったときに、その中で高砂市のメンバーが行きたいとか、集まって車いす乗ってあげれば、同じように練習の環境を与えることももちろんできると思いますし、そういったところの中に、やっぱり子どもたちも何かを協力したいという意識は、今回の大会では第2回目だったんですけども、子どもたちの考えているところという視野というのは広いのかなと。

その中に、子ども段階でしっかりと伝えてあげないと、高校、大学、一般になってく

ると、なかなか知識的なところの吸収というよりも、あくまでもやらされてる感、気持ちももちろんなってくると思うので、やっぱり自分たちが何かをしてあげれば、こういうものができ上がるんだというところの、若い年齢層の間の中に定着させていくというところをしっかりと見せてあげるというところが必要になるのではないかなというふうにこのたび感じました。

○議長

今、学校体育の話が出ましたが、一つ学校体育の中でも現場で一番非常にやらなければならないけど悩ましいテーマとして、インクルーシブの体育、障害を持った子と今さまざまな障害を持った子がいて、その子と健全な子たちと一緒にそういう経験をどうやって経験させていくかというふうなところ、多分、そういうのがどんどん、国からおりてきますよね。

○委員

浸透というより、それをベースにしていかないといけない時代ですし、その意味では福祉教育とか、そういう形で体験はしたりしてはいますが、こういう日常的な部分のスポーツ、こういうのも取り入れるというのは、非常に大事なことだと思います。

○委員

一つ皆さんに聞いていただきたらと思うことが、今スポーツクラブ21の阿弥陀の地区で一人聾啞者の方がスポーツクラブに入会させてほしいと。そして、何がしたいかといえば、いろんなことを取り組みたいというふうに言われるんですけども、耳が聞こえないと、手話の通訳を通じてされると。

そしてまた、個人の意思を伝えるのに、阿弥陀の地域の人たちは歓迎されております。そして、ホワイトボードを早速買ってきて、水性マジックで、ようこそ歓迎しておりますよというような意思伝達されたり、いろいろして今現在、スーパードライブを取り組まれております。

そして、その人の気持ちを汲ませていただくと、その方がいわゆる聾啞者の、自分の範囲の人たちにこのスーパードライブを教えていきたい、広げたいというふうに希望を持って取り組まれております。

一生懸命前向きにやられておるし、阿弥陀地域のスーパードライブの関係者の人は歓迎されております。

そしてまた、向こうの会長とも言いにくいことをズバツと言わせていただきますよということで、はっきり言ってこの人が来ることによって、迷惑だというふうに現実思っている人もいるかもしれないというようなこともズバツと言われて、いやそれは遠慮なしに言ってくださいというようなことで融合されていって、今いい雰囲気を取り組んでおられます。

それで、北浜地域の北浜小学校のほうで合同練習をすると、北浜の人も歓迎して、そして仲よくやっていっている姿を、僕も現場へ行かせてもらって見せていただいて、そ

れで実は聾啞者の人たち、東播のスーパードライブの大会を勤労者体育センターで講習会並びに大会をしてほしいとスポーツ推進委員会のほうへありまして、それでその大会をしてあげたわけです。

そしたら、すごく喜んでいただいて、それをぜひ広げていきたいと、今一生懸命取り組んでいただいているというような、それが高砂市の一つの障害者に対する取り組みの一つと、第一歩というふうに私はとらえているわけで、それには大勢の人たちのお世話する人たちがいるという、そのボランティア的に取り組んでいただける人がたくさんいていただいたらなというふうに、それにはまた障がい者スポーツについてということで、具体策をいろいろ検討をしていかなければいけないのではないかなというふうに思います。

そういうことで、一つ報告事項と例ということでお話させていただきました。

#### ○議長

素案のところは20ページに、そのあたりも含めて我々一応議論したつもりではあるんですが、いろんな団体と連携とか、ニーズの把握ということは、本当に表現でしか書けていないので、そこの部分の問題かと思いますが、そういうのも含めながら、恐らくでもここはより力を入れていかねばならないところじゃないかなというふうな共通理解で先に進みたいと思います。

後、7と8は一括だと思いますが、⑦の施設に関するご意見のところですが、このあたりは、行政的に対応をしていただけたらいいのかなというふうに私は思ったところです。特に、これは計画の中に記載するものではないので、大胆に駐車場を有料制に、これも一方ではそういう議論があるけど、一方では有料にしたら反対のご意見の人がいっぱいいらっしゃるし、この辺は本当に行政として対応を、していただけていいんじゃないかなと私は思っています。

後、⑧のその他も、大会開催、いわゆるイベントをするときについての、これもご要望です。これについても、実際に我々のこの会議での本題というふうなところではないかと思うので、これについても、ここの原案の方向で、字句を若干修正しながら対応するという形でいかがかと思いますが。

全体を通して、何か言い忘れたこととか、ご了解いただきたいのは、ここでいただいた意見も踏まえながら、回答は事務局と私のほうでもう一回確認をした上で、しつこすぎず、でも丁寧に、もう毅然とこの計画の範囲外ですというふうなところははっきりと、後意見に対してプラスアルファ、丁寧にこの先があるんですよというふうなことも丁寧に回答をするということで、おおむねこの方向で進めるという了解をいただけたらと思うんですが、よろしいでしょうか。

そうしましたら、その修正した形をなるべく早い時期、しかるべき早い時期でホームページに公表するというふうな形でお願いをしたいと思います。

それでは、今議題の2のところはかなりかかわっているんですが、このパブリックコメントで指摘いただいた部分も含めまして、推進計画の素案の部分、今日一応最終的な

部分として補足とか、こういう表現を入れたほうがいいのかというあたりの確認をしたいと思います。

お手元に配られていると思うんですが、この推進計画の素案というふうな冊子の資料2、事務局として訂正いただいた部分もありますので、事務局のほうから説明をお願いします。

#### ○事務局

それでは、まず高砂市スポーツ推進計画の素案の変更箇所について、ご説明をいたします。

字句の訂正箇所でございますが、16ページ、取組の方法①スポーツクラブ21等への参加奨励の「奨励」を「推奨」に訂正しています。

23ページお願いします。23ページに③スポーツ推進を支える団体の組織強化に向けた支援の下、体育協会の組織強化の部分ですが、(ア) (イ) (ウ) の二つ以上あれば記号をつけており、一つしかないものに対しては記号を振りませんでした。わかりやすいように体育協会の組織強化の前に(ア)をつけました。

24ページ、アのスポーツ施設の整備の文章の3行目、前は「施設の整備に努めるとともに、施設の整備について検討していきます」という文言でございましたが、「施設の整備に努めます」とすっきりとまとめました。

取組の方向で、一つしかないものには番号を振っていなかったのですが、わかりやすくするために指定管理者による自主事業の充実の前に①をつけました。

25ページの取組の方向、情報収集、情報提供方法の検討も同様に①をつけました。

また、今回の会議でご報告することにしておりました、スポーツ推進会議についてですが、7月4日に東播磨・北播磨地区社会教育主管者会議があり、そこで他市町においてスポーツ推進審議会の設置の有無を聞きまして、加古川市と加西市が条例でスポーツ推進審議会を設置していましたが、他の市町には審議会はございませんでした。多可町は生涯スポーツ振興委員会を設け、年数回会議を開催しているとのことでした。高砂市においても、どのようにするか今後検討いたしますが、今回のような会議の場を設け、いろいろとご意見をお聞きしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上で、簡単ではございますが説明を終わります。

#### ○議長

今、字句の訂正等については確認いただきながら、理解していただいたと思うんですが、最後に出ました件は、わかりましたか。情報として、今回の会議で報告することとしておりましたという話を今いただいたんですが、スポーツ推進審議会の設置についてはこの中身にはないですね、この素案の中には。そのあたり、事務局として少し検討材料に考えて、今出されたことだと思うんですが。

#### ○事務局



毎年行われているんですけども、東播磨・北播磨の社会体育の担当者がいつも出席してんですけども、そういう問題点を話し合う会議がございまして、あらかじめ質問を出してまとめたものを当日話し合うという会議なんですけども、高砂市といたしましては、各地区でスポーツ推進会議というのがどのように行われているかという意見を聞きましたところ、加古川市と加西市がスポーツ推進審議会の設置をしておりますということで、ほかは何も設置はしていませんということで、多可町に関しましては、生涯スポーツ振興委員会というものを設けて数回の会議をしているということでございました。高砂市においても、これから検討します。

○委員

多可町は提案された。

○議長

計画をつくるときに、事務局として恐らくほかのところの計画を見ていく場合に、5年なり10年で青写真を描いた。毎年、一つは具体的な事業というのは、もっとサブの委員会をつくったりしてるんですけど、全体としてどんな進捗状況かを、年に1回ないしは2回集まってやっていくほうがいいん違うかなということで、つまりこの計画が形骸化しないようにという趣旨なんですけど、調べていただいたというふうなことなんです。

現在のところ、今それに関することはないんですよ、ここの素案の中には。趣旨は、私が話すと、何かつくれと言ってるようになってしまうので、逆に事務局へ振ったんですけど、どう思われますかというのが事務局の提案というふうにご理解をいただけたらと思います。

○委員

素案の4ページのところで、計画自体が10年あるので、中間評価とか最終評価とか書かれていると思います。これを、誰が評価するのかなとか、議会かなとかいうふうに、これ見て思っていたんです。このことですか、こういう前のほうの評価。

○議長

そこにもかかわりますね。

○委員

そういう委員会をつくったほうがいい。

○議長

はい。

○委員

ぜひつくられて、やっぱりチェックをしていくべきでしょうね。そう思います。

○委員

文部科学省の計画でスポーツ推進委員会を設置するというような文言も各都市にあるわけで、それが高砂市の場合、推進計画の策定委員会というものは、今これは発足している。今後の取り組みでは、スポーツ推進委員会というのを、また人員を把握してやら

ないといけないのと違う。今後の計画性ということと、それと推進計画を立てたら、何年も放ったらかしではいけないわけで、加古川市から聞くと、5年おきに見直しをして、また次の計画を立てていくというような形をとっておられるらしいです。

高砂市もそういう形でやっていかないといけないのではないかなというふうに思います。皆さんどうですか。

○議長

私も今回初めて高砂市にかかわらせていただいて、伺うとこういういろんな団体の方が集まるということはあまりなかったというふうに、そういう意味ではこのメンバーをどういうふうに構成するかも含めて、でもやはりこの素案では30ページに絵を描いてくれているんですが、多分この中に、どこかにその審議会みたいなものが図的に、あるいは文章の中にも出てくるような形がきれいなのかなと、実際にそこが大きな意味を持ってくるのかなというふうにも思うとこなので、実際このあたり行政的に手続があると思うので、よくあるパターンですけど、設置を検討しますみたいにするか、文言をお任せするので、今のご意見を伺うと高砂市にもこのスポーツ推進の審議会というふうなものをつくって、定期的な検証と、後必要に応じて先ほどから出ているサブの委員会みたいなもので、特に関係する人たちで議論をしたり、事業のことも、そのあたりが出てきたらいいかなと思います。

○委員

よく言われてるように、PDCAサイクルでチェックをしていくという、何かこれにも当てはまるような気がしますので、何かそういう審議会をつくられて、この計画が生きたものになる。毎年やられるべきだとは思いますが。

○議長

その部分は入れるという方向で、これは恐らく最後の5章のところと、後は組織、23ページのスポーツ推進を支える団体の組織強化、強化じゃないかもしれないですけど、に向けた支援というふうなところあたりに入ってきたほうがいいのか、どう思われますかね。最後に入れることは間違いないんですが、総括的に。

何かご意見あったら遠慮なく言ってください、お願いします。

○委員

今つくろうとしていらっしゃる組織というのは。

○委員

計画ができた後に、例えば年ごとにチェックをしたりする。

○議長

そうですね。

○委員

これは、先生が先ほどおっしゃったスポーツ推進を支える団体、組織強化の中に入れてしまうと、何か偏りませんか。

○議長

なるほど、その辺ご意見を。

意図は、第三者的なチェックがということですね。

○委員

客観的にチェックができればなと思います。

でないと、なあなあになってしまうといけないので。

○議長

なるほど。

○事務局

一応スポーツ環境の充実の形になってくるかと思しますので、内容的には細かくなってしまうかもしれないですけども、25ページの基本施策3で情報発信となっています。また、別で委員会を新設するというので、基本施策4として新たに定めるほうがいいかなとも思います。

細かくなってしまうのかもしれないですけど、どこかに入れるのは難しいので、別の施策で施策としてあげたほうがいいのかなど。

○議長

そこはまさに議論をいただけたらと思います。

審議会を設けて、チェックをしますというのを施策ととらえるのか、あるいはそれは施策とするのか、その辺はご意見賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

私も項目を一つはっきりあげたほうがいいのかというには思います。明確になるので、何かどこかの項目に入れてしまうよりは、はっきり項目を新たに新設をして、やるんだというふうに出したほうが、皆さんにもわかりやすいような気はします。

○議長

いかがでしょうか。

○委員

私最初に言ったように、4ページのところにも、この評価はこの審議会が行うみたいな、計画の評価、進行管理とかこの1項目に入れたらどうかなど。審議会が行う。

○委員

より明確になりますので、書いたほうがこの4ページの誰がどうするのかみたいな、どこにも書いてないので、その項目を新設して、そこにそういうことをやるんですよということをちゃんと書けば、これ読んでいる人にもわかりやすい気はしますね。

○議長

事務局的にはいかがですか。いろんなお考えがあると思いますが。

○事務局

今のところ、30ページに市の部分がありますので、そこには何かしら付け加えたい

と思います。

○事務局

この推進計画の中に、当然今申しましたように、実際のアクションプラン実施計画等についての進捗、管理的な部分ということで、いろんな意見も伺いたいということの会議というのは当然必要であるというふうには考えておりますけども、そういった意見をもらう場を設けたいというふうには考えてます。

ただ、スポーツ推進審議会というような名称と言いますか、そういった形でということとは、実際正直今のところはそういった部分での名称では考えてない。ただ、もともとこの推進計画検討会議自体が条例上で決められた会であれば、それを引き継いでいくような形で審議会というような名称で、名称等については、若干その意味合い的な部分は我々としては考えているものと違う部分があります。

ただ、進捗状況の管理ということでは、何らかの形でご意見をいただける場を設けていきたいというもともとの考え方は持っております。

○議長

今いただいた意見も含めながら、総合的に検討させていただくということで、実施は皆さん共通している部分ではないかと思います。その方向で進めるということで、ご理解いただけたらと思います。

後、そのほか全体通じて、こんな表現とか、あるいはここを盛り込んだらどうかなみたいなものはありますか。

○委員

3 ページ一番最初のパブリックコメントのところでご意見いただいた競技スポーツのことありましたよね。本計画における「スポーツ」で、文言を見ると全てスポーツと考えますよという解釈が出てるんですけど、見た目のこの図がそれ入ってるのかという誤解を招きやすい図になってるんじゃないかな。

○議長

スポーツという円の中に競技スポーツが。

○委員

それもあるし、ほかにもスポーツがあるだろうと思われかねない図になってるんじゃないかなと。ここに「など」が入ると、主なものを入れてますだけの図になるんですけど、「など」も何もないので、競技スポーツはこれだけかというふうなとらえ方を視覚的には受けやすいのではないかな。

基本理念は全てのスポーツとして、生涯スポーツでとらえましょうということでは一致してはいますが、視覚的には誤解を招きやすいというふうに。

○議長

確かにそうですね。

この中身自体に、検討しましょうか。競技スポーツ自体も、逆に矢印して競技化とか

というふうにして、全てやっていくほうのほうがわかりやすいかもしれないですね。競技スポーツという種目はないので、この中を見たら、ほかのハイキングとか、ウォーキングというのは具体的な1個1個のスポーツあるいは体の動かしをイメージできるんですが、競技スポーツという種目はないので、そういう意味では、ここに例えばサッカーとか、バレーボールとか、いわゆるまさに近代スポーツを放り込んでおいたら、勘違いは防げるかなという気が、それが矢印の中で競技化、それがどのようなものであっても競技スポーツっていうふうに、そのどの競技スポーツを高砂市がピックアップしていくかというのは、また議論が今後あるとこだと思うので。

そのあたり、多分、これどこかからの出展で取ってきていただいた、もう間違いないんですが、今、委員からあった、まさにその形で訂正をしていけたらと思います。

○委員

20ページのユニバーサルスポーツ、これが入るのは当然としてましたね。

○議長

すいません、私も全くあんまり深くチェックしていなかったもので、事務局も何か図的なものがあつたらいいかなと思って、苦心の末に出てきたもので申し訳ありません。

それでは、もし大体大枠でこれでいいということでしたら、一度今日のご意見とか、パブリックコメントでご指摘いただいても少し字句の修正とか、後文言の表現を変えながら作り直しまして、もう一度委員の皆様の方に一度お送りして確認をいただいとというふうな作業をしていきたいと思います。

それでよろしいでしょうか。

○各委員

はい。

○委員

今日、委員が言われてたんですけど、柔道が高砂市では相当な特色のあるような形になってます。このスポーツ推進計画の中で、どこか武道の武が出てこないかなと思ってたときに、武道とスポーツは違うところもあるんですけども、柔道もスポーツ化されてますし、空手もスポーツ化されてますし、何ぼ頑張っても剣道、少林寺なんかは今オリンピックには出ることはないんですけども、スポーツ推進計画なんですけども、武的なことどこかに含めていただきたいなど、先般6月29日に武道振興大会、柔道・剣道・空手・合気道・少林寺・相撲を振興大会という形でさせていただきました。その折に、それに現在の段階で会員である方が参加してくれたのが300名、それで今回は一般の方にも、経験のない方にも参加していただこうとチラシを学校を通じて配っていただきましたら、参加者が120名ありました。

そういうことから、スポーツ推進をしていく中で、武的なところも少し入れていただいたほうがいいかなという気がします。

○議長

委員が言われているのは、3ページのところですか。

○委員

そうですね。先生にお願いして、今年はチラシも配っていただいたら、120名の参加者があり、体験していただきました。中でも、相撲を経験したいという女の子がいたというのは、非常に印象づけられましたね。

○委員

礼に始まって礼に終わる、武道の精神、うまくなっているということで。

○議長

今、具体的なお提案としましては、この3ページの図の中に一例ですけど、例として柔道を入れてはどうかというふうな。

○委員

柔道というより、武ですか。

○委員

大きく含めて武道ですね。

それで、細かく言うと格好になってくる。柔道・剣道・空手・少林寺。

○委員

本当、委員おっしゃったように、柔道は学校でも全ての学校にあると思いますし、中学校はクラブで、非常に組織的にもしっかりしてますので。私の道場へ通っていた子が、中学校へ行ったら少林寺がないから柔道すると言って柔道のほうへ行った子もおりますから。

○議長

どうでしょうかね。

委員の皆さんに抵抗がなければいいかなと思います。厳密にいくと、多分武道の関係者の人は、いやスポーツじゃないんだということになるんですけど、だけど、ここで広くとらえますよって、だから、もう高砂市としてそれを大きく高砂市としてのスポーツの解釈と、人間形成とか教育というふうなことも含めて、それぞれ武道も入れることは私は問題はないと思うんですが、もうまさにそういうご意見が出たので、もし抵抗がなければいいですかね。

○各委員

はい。

○議長

そこも含めて。

後、そのほかいかがでしょうか。

私一つ全体を見渡して、SWOT分析をしたときの課題とも絡むんですが、やっぱりどこかで強めにといい言い方あれなんですけど、入れたほうがいいかなというのは、やはり学校の先生方のあるいは地域の指導者の方もご苦労されているというのは、最近よ

く聞くのが、いわゆる保護者とか大人の方のスポーツへのかかわりの温度差とか、そのあたりがいろんなところでしんどいというか、対応に大変だというふうなことが、特に具体的には青少年のスポーツのところ、あるいはもっとちっちゃい低年でもそうかもしれませんが、いうのがよく聞きます。

ところが、ここではあまりその部分はさらっといってるわけなんです。そのあたり、啓発とか、スポーツへのかかわりみたいな、子どものスポーツとかのあり方への啓発みたいなところは、何かどっかに入れといてもいいかなというふうに、全体を通して、それは一つは指導者を育成するという観点ももちろんなんですが、もう一つは市全体としてそういう土壌をやっぱりつくっていく上では、保護者とか大人の方の目線も、それをどこに入れるかというのは、また考えねばならないんですが、そこらあたりは一つポイントになろうかと、正しい方向に行く上では、やはり先ほど言った武道もそうですが、教育としてスポーツを何らかの形で位置づけようとする場合には、まして私パブリックコメントでもそうだなと思ったのは、そのあたりがあまり反映されていない、あるいは二極化してるんだけど、そこに対する何かというのを盛り込まれていたらいいかなというのもあるので、もしご異論がなければ、また検討させていただくような形でもよろしいでしょうか。

後、次回以降のことも含めて資料を用意いただいたんですが、少し資料編という形でホッチキスどめを幾つか、これもご意見を伺えればというふうなこととご理解の上、聞いていただけたらと思うんですが、資料編でまずこういう計画をつくる場合に、3枚とじ、設置要綱とか、参加いただいた委員の皆さんとか、会議の経過みたいなところがあると思います。これは、当然公開すべきなので必要になってきます。

ちなみに、今日が3枚目の裏なんですが、6回の検討会議で後続いて具体的な、先ほど出ていた計画、来年度、再来年度あたりのところに向けて議論を少し深めるための会議が後年度内にあるというふうにご理解をください。

それで、後2枚どめ、スーパードライブとはというのがあると思います。このあたり、せっかく用意いただいたので、事務局の思いを聞いていただけたらと思います。

#### ○事務局

スーパードライブ、ファミリーバドミントン、スーパーカラムで、現在、高砂市で行われていますスポーツ推進委員会でも進めていただいているニュースポーツでございます。

次のページですが、スキヤモンの発達曲線というのは、先ほど先生も言われてましたように、親の教育というか、子どものスポーツをするタイミングとかそういうものを示した図でございます。また、このほか写真などを入れて完成形にしていくということを考えております。

#### ○議長

具体的に、これまで高砂市のスポーツ推進委員とか、そのほかの団体で取り組んでい

る種目の説明ですね。

よくあるんですけど、このあたりは本文の中に、資料編じゃなくて、具体例をイメージする上でも、何かを推進しますというふうなところで、現在、これまではこんなことをやっていますみたいな形で入れておけば、例えば、18ページあるいは19ページのあたりになろうかと思うんですが、取組の方向というふうなところのいずれかのところで、コラム的かというと、あるいは例示として今具体的にやっていること、これをベースにしながらというふうな注釈も入れて、本文に入れたほうが私はいいかなとは、後スキャモンの発育曲線もそうなんですが、これもちょうど青少年期とかあたり、幼児期から、このあたりのところに入れながら、これはまさにコラムになると思うんですが、こういうふうなことで適切な考え方なんだという補強にもなろうかというふうに思うところです。

後もう一つ、すいません。

#### ○事務局

別冊の資料編でございます。

平成26年分、ページ数も多いことから、高砂市スポーツ推進計画の冊子の中には入れないで、別冊としてまとめようかと考えています。

#### ○議長

多分、皆さんおわかりですよ。それぞれの体育協会とか、スポーツ推進委員会、スポーツクラブ21等が平成26年度にやる、あるいはやる予定の中身です。このあたり。

基本的には現状の事実なので、問題はないと思うんですが、多分このあたりの行事を今後どうするのか、あるいはもっと大きなイベントにしていきたいとか、例えば高砂マラソンであります、参加者が7ページにありますよね、イベントの参加者とか、こういうふうなものを具体的にはどんどん今後改善をして、5年後にはこれぐらいの規模にしていきたいんだ、そのためにこんなことをしていきたいなみたいなのが出てくれればいいかなと思いますし、逆にこれを出すことで具体のことが、次、より迫られるというふうにもご理解いただけたらいいかなと思います。

普通のところでは、これだけ一覧でまとまっているのは、あまり多分普通の人は目にすることはないですね。そういう意味では、これだけが今やってて、これを今後そういう意味では、先ほどの計画に向けて精選したり、あるいは改善したりしていきますよって、あるいは新規でっていうふうなベースになるというふうな位置づけというふうであれば、私はいいんじゃないかなと思います。

関連のところで、いやこれは出さんとしてほしいぞというのがありましたら、言っただいてとも思いますが、後こういう側面とか、こんなのはどうなのか。学校関係というのは、この枠組みには入らない、もう体育協会とかに吸収されるんですかね。

#### ○委員

どの枠ですか。



○議長

私も全部どこがどうかあれなんですけど、多分、別段として、別項として学校関係というふうなものは。

○委員

各協会に入っているところ、市内の大会は入ってますね。

○事務局

これは協会から出てきた分で、あくまでも手持ちとして、未定とかいっぱい入っていますので。

○委員

競技によって、競技協会によって中学生の大会が一目でわかる大会であったり、野球などでしたら、多分一般の方の大会だと思うんですけど、そのあたりがまちまちなので。

○議長

そうなんですよね。

今、委員が言ってくださったところ、打ち合わせでも話あったところなんですけど、恐らく今後具体的にそれぞれの取り組みが妥当かとか、あるいはこれダブっているのを、もう少し調整したらみたいなことを議論するためには、このベースの資料は大事なんですけど、見づらい、種目協会の立場から整理されているので。あくまでも、スポーツするのは実施者が、例えば中学校の子どもはどんな動きに例えば年間なるんだろうとかという観点で、やっぱりやるのが一番望ましいということもご理解いただきながら、多分そういうふうなことも作業として、今後事務局だけじゃなくて、この計画をベースにしながら各関係のところはしていく必要があるんじゃないかなというふうな気がするんです。

恐らく、お二人の校長先生は言われるんですが、学校の立場からすれば、もうそこらあたりが整理されてなくて、学校は大変だよということというのは、至るところでもある話でして、そういう意味で具体的なこういう取り組みをしますって、先ほど計画でつくったところは妥当なのかどうかあたりなんかは、ぜひ今後こういうのをベースにしながら検討いただくような形で進めればいいかなというふうにも思っているところです。

○事務局

この別冊の資料編ですけど、これは別に出しても問題はないですか。

○事務局

出すのならもう少し中身を精査しないと、未定では。

○事務局

平成27年度にスポーツ推進計画の次の取り組みが出てきますけど、この時点では平成26年度しかないの、前年の分になるのかなと思うのですが。

○事務局

総会資料だったらその時点では未定だが、計画資料で出すならきっちり出さないといけない。

推進計画資料として出すなら、中身の精査が必要。

○議長

そうですね。

○委員

それ以外の体育協会以外にもスポーツ少年団であったり、また少年野球のいろんな団体があって、それには入ってないところもあるだろうし、中体連の大会は入っているし。

○議長

そうですね。

これ、そういう意味ではこのままの資料というのは、事実としてはそうなんですけど、別冊の資料というふうな形では精査が必要かなというのは思いますし、今後に向けてなんですが、今言われたような形で把握できていないものも含めて、一つそれぞれの年代の人がどんなものの可能性があるのかみたいな観点で整理をし直すということは、今後の審議をしていく上でも必要になるんじゃないかなと思うので、委員の皆さんもまた頭にとめていただけたらと思います。

とりあえず、これについてはこういう現状ということでご理解いただいて、後もう1点の平成27年度から平成31年度の取組予定とある、A4の横版の表。これが、次回以降に細かく検討を少しずつしていきたいアクションプランというか、具体的な年度の計画の部分です。

現段階で、行政の実施主体の課を書いているのですが、平成27年度以降、どういうふうなことをやっていこうとするのか考えられるところを一応出させてくださっています。

これは今日初めて配付していただいたものですね。

○事務局

形式だけですが。

○議長

そうですね。大分埋まった形で配布していただいたので、次回の会議で少しこのあたりのところを具体的に議論をしながら深めて、特に平成27年度については、どれぐらいの予算とか、来年度の事業に具体的に反映があるのかというのは、私もわかりかねますが、でも大体事業を進めていく、あるいは方向をとる場合には、秋ぐらいにはもう決定しなきゃいけないので、そういうことも含めて5箇年でこのあたりからやっていこうとかいうことを、この取組内容のあいたところだとか、どうやって埋めようかというふうな議論を次回にさせていただけたらありがたいです。

左側の取組の方向というのは、今日大体おおむね了解いただいた推進計画の素案の基本施策のところというふうにご理解いただけたらと思います。

正直なところ、全部見るというのは大変なので、ぜひお願いしたいのは、それぞれの皆さんが強みのところをこだわって、新しくこういう方向をっていうのもいいので、

それぞれよく見えているところを中心に見ていただいて、また参加いただけたらありがたいです。

よろしいでしょうか。ここが具体的に言えばすごく重要になってくるんですが。

以上が今日の配付した資料で、それでは、先ほど委員からありました車いすバスケの8月3日の新聞記事の部分、先ほど口頭で詳しくお話いただいたので、またぜひごらんください。

こういうものを、どう具体の事業に取り込んでくるか。後もう一つは、委員がやっておられる。ラジオ体操の神戸新聞のネットの記事です。ここの委員会でも出たと思うんですが、気軽にラジオ体操というのを地域の中で位置づけていこうではないかみたいな話が出たので、その一つのトピックとして印刷をしていただいているというふうにごらんください。

○事務局

武道振興大会の新聞記事を忘れてました。すみませんでした。

○委員

いいですよ。

○事務局

武道振興大会も新聞記事に出てました。

○議長

今やっているところで、新たな可能性があるようなものを具体的に少し例示をしていくというのも次回以降考えていただきたいので、ぜひお願いします。

それでは、次回までの課題がたくさんあるのですが、よろしくお願いします。

では、最後、その他のところにいきたいと思います。

今後のスケジュールについてということで、事務局からお願いします。

○事務局

次回でございます。

(日程調整)

○議長

それでは、どうぞ。

○事務局

最後に健康文化部長から閉会の挨拶をお願いします。

○健康文化部長

(あいさつ)

○事務局

それでは、これにて散会いたします。

ありがとうございました。

(午後 9時00分 閉会)